



楽々亭通信

第 46 号
令和6年8月1日号

発行：NPO法人没イチの会・京都

7月の楽々亭を 開催いたしました

「偽物があるから、本物がある」

本願寺派布教使

安堂芳雅

こんにちは、安堂です。先月初めに新しいお札ができました。

今回の肖像は、渋沢栄一（一万円札）・津田梅子（五千円札）・北里柴三郎（千円札）でした。

お札の肖像画といえば、大学時代にアルバイトでもらった封筒に、聖徳太子ではなく福沢諭吉が入っていた、何となく価値が下がったように思ったことを思い出しました。

それから二十年後には、五千円札は新渡戸稲造から樋口一葉に変わり、千円札は夏目漱石から野口英

世に変わっています。



伊藤博文や岩倉具視を見たような記憶もあるのですが、いつの何円札だったのでしょうか。

■新札が出るたびに「偽札」がつくられる

お札（紙幣）は偽造されないように、だいたい二十年ごとにリニューアルされるそうです。

このたびの新札発行に合わせて、公表された偽造防止策は次の六つです。

① 額面数字の深凹版印刷（インクを高く盛り上げる印刷技術で、触るとザラザラしている）

② 肖像透かし部分背後の緻密な菱形模様とすき入れパターンの違い（一万円札3本線・五

千円札2本線・千円札1本線）

③ ホログラム技術で三次元に見える渋沢栄一が首を振る（左下部分）

④ お札を傾けると両端にピンクの光沢が見えるパールインキ

⑤ コピー機では再現できないほど小さな「NIPPONGINKO」のマイクロ文字

⑥ 紫外線をあてると、オレンジ色に発光する、特殊インキ（日本銀行総裁の印章や模様の一部）

偽造防止策を公表するとは、（国立印刷局も強気だなあ）と思いましたが、もちろんこれだけではないでしょう。

きつと私達にわからないところで、高度な印刷技術の闘いが、繰り広げられているに違いありません。

光宣寺というお寺の新聞にこんなことが書いてありました。

昔、両替商に丁稚奉公に入ると、まず毎日、純金の小判を見るのだそうです。そうして本物の、重さ、肌触り、光り具合に触れていると、混ぜ物が入った小判が瞬時に判るといいます。

本物を知らないと、偽物を見分けられないということでしょう。

「偽物」は「本物」にとってもよく似ています。全く違っていたら「別物」です。別物だったらわかるかもしれないませんが、本物を知らず、偽物ばかりをみていたら、その偽物を本物と思うしかないのです。

だとすると、私が今まで手に取って来たお札は総て「偽物」だったとしても、私にはその真偽はわかり

ません。

■私自身も、また私のも、ことも、すべて「偽もの」

「偽」とは、「にんべんに為す」と書きます。「人間のすることはすべて偽物である」ということでしょうか。

聖徳太子は、「世間虚仮唯仏是真」

「世間はすべて虚ろな仮もので、ただ仏だけが真である」と仰せです。

「念仏は偽物の人生を本物に変えて下さる」（梯実円和上）

「偽物」である私の人生は、「本物」の阿弥陀さまの教えによって導かれ、この世でのいのちを終える時、お浄土に生れ、「本物」に帰えられていくのです。



会員 趣味のホームページ

あじさい川柳 より

つつじやつつじ歓声あげて
咲いている

負けん気などどこに有るのよ
雲や雲

もう死んでもええけどやつぱ
りもうちよつと

無い無い目の前に有るそれ
は何

ああ生きやすくなった歳とつ
てみれば

いま風が襟あしそつとなせて
つた

ようせんようせんと自分を捨

ててきた

そうだそうだ頑張れ頑張れわ
たし

なぜにこうまで魅了する青い

花

どこまでも川のぼりゆく黒い

水

藤本花枝

NPOドレミ子ども食堂23と言
う団体を昨年8月に立ち上げま
した。

毎月2回第二土曜日と第四土
曜日の午後12時から食べ始
め、午後3時半頃終わります。

スタッフは10時半から準備
を始めますから結構長い時間携
わっています。

ボランティアのスタッフは十
二名皆高齢者です。勉強を教え
ることもしていますので、その
ボランティアは学生2名が担当
しています。

洛西地区の北新林で開催して
いますが、初回から大繁盛で会
場に入りきれない子供達や高齢

者も受け入れていきますので、その
人たちでいつも一杯です。

毎回子供達50名ほど（幼児、
小学、中学）高齢者7名ほどがご
飯を食べにきます。

毎回献立を考えるのが大変で
すが、一人の方が担当して毎回違
うメニューを出しています。

行政からの援助、農水省からお
米の寄付などを頂いて、運営して
います。

二次的には、食べ終わってから
皆で遊んだり学習をしたり子供
達と高齢者の居場所にもなって
います。これも大きな目的の一つ
です。

興味のある方、ボランティアを
してみませんか。一度見学でも大
歓迎です。

籠谷 弘



楽々亭 8月の予定

8月の楽々亭はお休みとさせて
頂きます。



楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都
住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328
MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しており
ます。身の回りの出来事や体験談など、何でも
結構です。楽しかったこと、つらい思いをした
ことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行き
たいと考えております。